

平成 29 年度 第 2 回わくわく市民懇談会

1 日 時 平成 29 年 7 月 3 日(月) 午後 7 時 30 分から午後 8 時 15 分まで

2 場 所 一本木研修センター

3 出席者 一本木一日会（ついたちかい） 15 名
市長、随員職員 2 名

4 市長講話

(テーマ)

- ・自治体経営～中野市を運営する～
- ・変化・変容への対応
- ・大切な現場力
- ・新しい発想 チャレンジ精神の克己
- ・人を育てる 成長することに喜びを感じる組織
- ・関係性が大切な視点～公民連携・市民協働～

皆さま、こんばんは。今回はお声掛けをいただきまして、ありがとうございます。

今日は、普段私の頭の中にあることとお話できればと思います。また、今日は一本木区に関することとお話したいと思います。

では、レジュメに従いまして、自治体を経営するということについてですが、市長ひとりで経営をできるのかという言葉をいただきながら、中野市の経営に取り組んでいるところでもあります。先日、住みよい街ランキングで全国 43 位という結果になりました。長野県では、トップになり、その次に駒ヶ根市が入ってきます。では、こういったデータは何でできているかということではありますが、病院が近くて暮らしやすい環境などの理由もあるかと思います。そして、財政力指数という健全な財政でやっているかということが問われていると思います。その自治体には体力があるか、また、道路の状況はどうなのかなどの事項が入っていると思いますが、前回のランキングが 70 台であり、全国 800 近くある市のなかで 43 位なので高い位置にはあると思います。長野市など大きい都市が入ってきていますが、全国で一番多い都市が 4 万人規模の自治体になり、その大きな塊の中に中野市があって、その中でも比較的に上位にあるということになります。そして、経営するとなると、収入がどのくらいで、支出がどのくらいなのか、将来への投資などお金の動きがあり、皆さまもお分りのとおり、中野市は三割自治で経営を行っている状況にあります。一般会計のうち、三割が地方税の税収、三割が地方交付税、三割が借金という分類になります。近隣の飯山市などと比べてみますと、比較的財政は豊かな状況にあって、北信広域の地域の中では人口や財政も 50%を占めています。そういったことから恐縮ではありますが、他自治体からは頼られていると思われまます。

そんな中で、中野市を経営するということで、いろいろ考えてきたのですが、経済対策をどうするかを一番の軸に見ていかなければならないと考えています。これから先の長期的な展望で考えた場合、何が問題になっているかと言いますと、人口減少問

題です。人口の減少による影響は、さまざまな産業分野に波及することになります。例えば、農業分野では、後継者不足の問題が発生します。また、工業分野では従業員
の採用が出来ないなど、人材不足の問題が発生します。こういったマイナスの部分がある中で、これらの産業をどうやって発展させるかを考えて、一自治体として出来る「経済政策」を展開していかなければなりません。そうした中で、中野市では、なぜ農業が基幹産業なのかという理由を掴んでいなければなりません。総付加価値額で言えば、中野市の農業の付加価値額の全体に占める割合は約 10%になります。そして、精密機械、電子デバイスなどの工業系の利益が大きく占めています。当然、商業分野も大きく占めています。

翻ると、中野市にとって何が大事なことを考えると、そこで働いている人がどうなのかということです。農林水産系に携わる人が非常に多く、全国の自治体と比較しても突起しています。また、医療関係も多い状況にあり、北信総合病院では、1,000 名以上の職員が勤めています。売上額で考えますと医療分野と工業分野の稼ぐ部分が非常に多いのです。しかし、従事者数を見てみると、農業分野の人が多い状況にあります。そういった人たちが儲かって収益を上げてくれれば、中野市にとって非常にプラスとなります。そこから、経済分析をしてみると、どこに力を入れるかを考えると「農業分野」になります。農業という分野の生産性を挙げ、付加価値を上げることを本格的に実行していかなければなりません。そもそも中野市は農業の力がある場所になり、ここが中野市の強みになります。私が市長になったときに飯山駅ができたなら「中野市は埋没してしまうよ」と言われたことがありましたが、中野市には、売り出す産物が多くあり、それらをどう売り出していくか、そんな強みをより高めることが大事になってきます。

いずれにしましても、多くの変化変容がある中で、その変化に対応できるようにしていかなければなりません。

さて、ここからは、中野の食に注目して話をしていきたいと思います。中野市には一時間以上滞在して過ごせる観光拠点がありません。中野市の中で一時間以上、滞在できるような場所がどこなのか考えると、私はバラ公園だと考えます。しかし、そんな公園に何が足りないかを考えると「食べる場所」がないのです。新潟県見附市は工業団地を新設したのですが、人が訪れないということで見附市長は工業団地の中にバラ公園を新設しました。そのバラ公園には、今年8年目で累計100万人が訪れているそうです。100万が訪れることで何が起きたかと言いますと、ホテルがどんどん進出しているそうです。そして、そんな見附市は、中野市と同様の4万人規模の自治体であります。また、富山県魚津市にも昨年行きましたが、ホテルがたくさんありました。ビジネスで来た人など、中野市へ来て山ノ内町で泊まるかと思えば、ほとんどが長野市のホテルへ行くそうです。そういったニーズを掴むことが重要だろうと考えています。

先日、伊那市に「ばら制定都市会議」に加入してもらいました。長野県には、坂城町のバラ公園や安曇野市、塩尻市、東御市などにはバラ公園があるので、そういった自治体間で観光ルートを作って、それを繋げられないかという話がありました。そこに中野市が入ると、新潟県からバラ公園で繋がり、バス観光としての一つのルートが出来上がります。しかし、中野市のバラ公園は食べる場所がないので、そういったところで市の特産品や料理を提供すればいいんじゃないかと思っています。そして、通常、バラ公園は市の郊外にあるのですが、中野市は街の真ん中にあるため、驚かれるお客さんが多くいらっしゃると思っています。そういったことから、今、観光経済の面でバラ園と食をどのように結び付けていくか、どこから始めるかということに着手しています。こういう時代ですから、インバウンドにも繋がり、広域の観光ルートの一つにもなると思います。

話は変わりますが、現場の人たちはお客さんの細かい要望や声を知っています。今

年もやりますが、おごっそフェアで一番聞こえてきたのが、「水がない」、「水を売っている店が全然なかった」といった声でした。こうした現場の声が上がってくることで次への改善が始まってくるため、現場力は大切になります。いずれにしても、バラ会の皆さま、実行委員会から上がってくる現場の声を丁寧に拾い上げ、私たちの立場で判断するのではなく、お客さんの立場に立って対応することが大事になります。この現場力については、市のサービス全般にも当てはまると考えています。

さて、今年、政策研究所をスタートさせたのですが、目的は二つありまして、一つは市の仕事は縦割りで業務を行い、そこでベストを尽くすという業務体系でいるのですが、全部の仕事はつながっています。広く物事を見て、10年先20年先の市のために何をしたらいいかその課題解決のためのアプローチを考えるためにテーマを与えて検討してもらいます。また、それらをこれからの将来を担う若いひとたちにやってもらいます。今、考えているテーマとして、産業構造を考えた時にどこに力をいれ、何が足りないかを検討することが大事になります。商売は、いきなり突拍子のないものは出来ませんので、やはり、強いところを伸ばすことが必要だと考えます。市に有利な資金や補助金があったら道路を作りますなどではなく、それ以外のところで資金を調達することが新しい発想になります。こういった新しい発想を行政も取組んでいかなければなりません。チャレンジ精神を持って、クラウドファンディングだったり、民間の参入など新しい取り組みをもっと勉強を若い人たちにやってもらいたいと思っています。こういったことから、外の民間企業に派遣したり、長野経済研究所に派遣したり、そこで新しい繋がりをもってもらえるなどそういったヒトを育てることに力を入れています。

また、先日東京大学の堀先生のお話を聞いて勉強したのですが、商店街を活性化させる秘策として、当事者たちがやりたい、当事者たちがやるということに支援していきたいと思っています。私たちはこういう目的があって、こうしたいなどの事業やプ

プロジェクトに支援し、お金を出していきたいと考えています。この発想は県の元気づくり支援金にあるのかもしれませんが、そういったやり方を進めていきたいと思います。これからの在り方は、公共でもない、民間でもない、要するに民間と公共で手を組んで何かを作っていく。そういったことをやれば、民間の人にもビジネスチャンスがあって、公共の税金に頼らない、負担をかけないモノが出来ると思っています。

話は戻りますが、今後、バラ公園をなんとかしていきたいと思います。見附市のお話を聞いた時には、びっくりしました。そこを整備し、そこに人が入ってくれば商機が生まれ、事業者が外からやってくるという話で、その種があるからこそやりたいという人が来ると思っています。いずれにしましても、案はいくつかあるのですが、だんだんと絞られてきています。ただそうは言いましても、そんな簡単にできるのかと思われるかもしれませんが、出来るところから進めていきたいと思います。

いずれにしても、どんどん何かをやるという時期に入ってきています。まとまりませんが、私からの話は以上になります。ありがとうございました。